

# 日本数学会男女共同参画社会推進委員会からのお知らせ

男女共同参画社会推進委員会

理科系の女性研究者の割合、身分、待遇などが、先進国はもとより、発展途上国にも劣りぎみの「女性研究者の割合の劣悪な国：日本」において、女性研究者の登用にむけての推進事業が始まりました。他国と比較した場合に、日本の女性数学者の数などがどの程度貧しいかというデータについては次回以後の数学通信に掲載予定ですが、ここに現在審議中の政府の事業案を述べます（情報は男女共同参画学協会連絡会より得ました）。

## ◎ 文部科学省「科学技術分野における女性の活躍促進事業」について

- 1) 出産・育児などによる研究中断からの復帰支援：日本学術振興会 特別研究員（平成18年度予算案 1億4千万円）

2006年1月3日の読売新聞記事に掲載されているように、出産や育児で研究活動を中断した女性研究者らの現場復帰を支援する「特別研究員復帰支援事業」が間もなく実施されるかもしれません。例えば、博士課程修了程度で出産や子育てのため研究活動を中断した人に対する、日本学術振興会の特別研究員（ポストドク研究員）の募集という形になる模様です。日本学術振興会のホームページなどにそのうち確定情報が掲載されると思われますので、該当すると思われる方は注意して情報を得てください。

- 2) 女性研究者支援モデル育成：科学技術新興調整費（平成18年度予算案 5億円）

女性研究者の育成活躍促進を積極的に行う機関の取り組みを政府が経済的に支援するもの。

- 3) 女性の理工系選択支援を行う社会教育関係者などへの取り組み、女子中高生の理数への関心を高める取り組みの拡充

女子生徒の科学技術分野への進路選択を支援するため、教育関係者らに向けた取り組みのモデルプログラム事例集の作成、指導者研究会開催など（平成18年度予算案 5千万円）、女子中高生と研究者・技術者との交流機会を促進する事業など（平成18年度予算案 3千5百万円）。

## ◎ 女子高校生夏の学校 ―科学・技術者のたまごたちへ―

文部科学省「女子学生の理工系学部進学へのチャレンジ・キャンペーン推進」事業（ホームページ <http://www.gender.go.jp/c-challenge/>）の一環として、女子高校生夏の学校という催しが開催されています。平成18年度は文部科学省主催、国立女性教育会館への委託という形で、国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728）にて平成18年8月17日より数日間にわたり実施される予定です。日本数学会も共催という形で平成17年度に参加しました。平成18年度以降も参加し、多数の「数学者志望の女子高生」育成に協力する予定です。

## 女子高校生夏の学校-科学・技術者のたまごたちへ-

東京大学大学院数理科学研究科  
COE 研究員 谷口隆

2005年の8月22日-23日、埼玉県にある国立女性教育会館で「女子高校生夏の学校-科学・技術者のたまごたちへ-」と題した1泊2日の、合宿形式の学校が開かれました。日本はイギリスやアメリカなどの先進諸国と比べて、理系研究者の女性比率が低いという統計があるそうです。この学校は、女性にも研究者になる道があることを、理系に進む女子高校生に女性の研究者や大学院生と触れ合う機会を設けることで知ってもらおうという試みで開かれました。その主な企画の一つに各方面の研究者による講演があり、私もその一人として講演してきました。(講演者もほとんどが女性の研究者でしたが、バランスとして男性も少しいた方がよいということだったようです。)ここでは学校の一参加者として、学校の内容や雰囲気、また感じたことを簡単に報告させていただきますと思います。

研究者による講演は30分×9コマで、大学で医学・物理・化学などの研究に従事している方や、民間の研究所で研究している方が講演されていました。彼女らの講演で一つ新鮮だったことは、全員がプロジェクターを用いていて、それが短時間で研究の魅力を伝える上でとても有効に機能していたことです。数学の場合は分野や内容によっては板書の講演が何より分かりやすいこともあり、私もこれまで講演は板書がほとんどでしたが、OHPやプロジェクターによる講演の可能性をもう少し考えてみたくなりました。このような技術は人づてや口コミによって伝わっていくものなので、学際的な会議や集会に顔を出してみると思わぬ収穫があるのものなのかも知れません。

女性の研究者の方々からは、キャリアパスや研究と子育ての両立についてのエピソードも交えながらの講演がいくつもありましたが、私はそのような話はできないので、話を数学に絞って講演しました。整数論入門として、素数が無限個あることの証明と、素数を $p = x^2 + y^2$ と平方数の和に書ける条件が4による剰余類で決まる現象を紹介し、その証明に複素数(ガウス整数環)が用いられることを説明しました。30分では内容が多すぎてついてこれられないかもしれないと少し不安でしたが、私の想像以上に女子高校生たちが内容に興味を持ってくれたように感じました。普段は何かと男性同士で数学の話をする機会が多いのですが、実際に理数系の女子高校生数十名の前で話してみることで、「女の子も面白い数学は面白いと思う」と、考えてみれば実に当たり前のことに改めて気づかされたように思います。

22日夕食の立食懇親会の他、23日には講演者と直接話し合う時間も用意されていて、女子高校生は講演者との直接のコミュニケーションも楽しめたようです。一方、講演者と同等もしくはそれ以上に存在感があったのは、約20名に及ぶ理系女子大学生のチューターでした。企画や運営にも関わり、この学校をかなり実質的に下支えされていたようですが、担当プログラムや夜の進路相談では何より女子高校生を強く惹きつけていて、身近な先輩ならではの活躍ぶりを目の当たりにしました。

冒頭の女性研究者の比率の問題は多くの問題に根ざしており、簡単に解決できるような問題では(どのような方向が正しい解決であるかということも含めて)ありません。それでも、自分より若い世代の人たちに生き生きとした数学を伝えることができるならば、数学をより深く考えてみたいと男女を問わず感じてもらえるかだろうし、またそれは同時に私達自身にも有形無形のフィードバックがあるのではないかと、期待を込めて感じました。

【附】国立女性教育会館による学校の報告ページ：<http://www.nwec.jp/scoop/page05.php>  
夏の学校プログラム：<http://www.nwec.jp/scoop/common/page0501.pdf>

## ◎ 2006 年春の日本数学会年会保育室利用のご案内

2006 年春の日本数学会年会 (中央大学理工学部) において, 学会会場内の保育室をご案内します. 保育室利用希望者は以下をお読みの上, 3 月 8 日 (水) までに「保育室申込書」にてお申送ください. 詳しい内容や用紙のファイルは日本数学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/> にあります. ご利用にあたっては「一時保育室利用に関する誓約書」を提出して頂くことを前提としています.

★保育室場所: 保育室は中央大学理工学部の学会会場内に設置します. 保育室利用申込者には詳細を別途お知らせします.

★保育室利用にあたっては以下の保育室規定 1--11 を遵守し, 下記の要領でお申送下さい.

1. 保育対象: 保育室を利用できるのは日本数学会会員の同伴するお子さんに限り, 年齢は産休明けから小学校 3 年生程度までとします. 小学校 3 年生程度以上の場合でも, 対象となるお子さんの兄弟は受け入れ可能です.

2. 保育室形態: 中央大学理工学部の学会会場内に設置される保育室に, 株式会社コティ (ホームページ <http://www.coty.co.jp/> ベビーシッター協会加盟) 所属の保育シッターさんが派遣されます.

3. 保育室運営時間: 8:30 -- 18:30

4. 保育室利用料金: 運営時間内に 0 歳 800 円/ 1 時間, 1 歳以上 600 円/ 1 時間 の料金において 30 分単位で利用できます. 2 人目以降の兄弟もしくは双子以上の同時利用に対しては, 半額 (0 歳 400 円/ 1 時間, 1 歳以上 300 円/ 1 時間) とします. 3 月 15 日 (水) までに, 利用料金を計算の上, 下記の日本数学会の口座に払込下さい.

5. 当日持参する物 (全て記名):

全員持参 (1) 飲み物または粉ミルク (2) ハンドタオルと昼寝用バスタオル (3) 着替え一組 (4) 汚れ物入れのポリ袋 2-3 枚 (5) 保険証コピー (6) 下記の「一時保育室利用に関する誓約書」 (7) 下記の「お子さまカルテ」

該当者のみ持参 (8) オムツ・おしり拭き (9) 昼食・おやつ (10) 粉ミルク・回数分の哺乳瓶 (11) 食事前エプロン

6. お子さまカルテ: お子さんの普段の様子を記入する用紙です. 日本数学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/> にある「お子さまカルテ」ファイルを取って印刷し, ご記入の上, 当日に保育室に持参して下さい (ご希望の場合はその旨の連絡があれば別途用紙を前もってお送りします). なお当日はお子さんのコンディションもシッターさんに口頭で伝えて下さい. お子さんが病気の場合には原則としてお預かりできませんが, 軽微な疾病等については, 最終的にはシッターと保育室利用申込者で相談の上判断して頂きます. また, シッターは原則として投薬できませんので, 投薬される場合は保育室利用申込者の責任で行って下さい.

7. 「一時保育室利用に関する誓約書」について: 日本数学会のホームページにある「一時保育

室利用に關しての誓約書」ファイルを取って印刷しご記入の上、当日保育室に持参して下さい(ご希望の場合はその旨の連絡があれば別途用紙を前もってお送りします)。  
誓約内容は、万一の事故の際にも会場大学およびその大会運営に關わる人は一切の責任を負担しないこと、日本数学会および数学会の保育室運営に携わる人の責任は、同会が加入する損害保険の範囲にとどまること等です。

8. 不測の事態について：保育室利用に關わる不測の事態に対しては、すべて保育室利用申込者が迅速に対応することを前提としています。保育利用中の学会会場以外への外出は原則としてご遠慮ください。保育利用中の事故等のトラブルについては、保育室利用申込者と「コティ」との間で処理をして頂きます。

9. 保険：保育室利用中の万一の事故に備え、シッター会社は全国ベビーシッター協会加入ベビーシッター業経営者賠償補償の損害保険に加入しています。これに加えて日本数学会でも学会中の保育に対し、損害保険をかけています。

10. 近隣病院施設：駿河台日本大学病院 住所：千代田区神田駿河台 1-8-13 電話：03-3293-1711

11. キャンセルについて：保育室利用者が保育室利用申込の一部または全部のキャンセルを行い、キャンセル料の負担が生じた場合には、保育室利用者は当該キャンセルがやむを得ない事情に基づくものである場合に限り、男女共同参画社会推進委員会の設定する料金をキャンセル料として支払うこととします。キャンセル料の発生時刻は契約するシッター会社の規定に基づくものとします。

当該キャンセルがやむを得ない事情に基づくものと認められない場合には、保育室利用者はシッター会社の規定する料金をキャンセル料として支払うこととします。

12. 保育室利用申込について：以上 1-11 をご承知の上、申込期間中に下記の保育室申込書(日本数学会のホームページにもファイルがあります)にてお申送ください。

-----  
**申込締め切り：2006年3月8日(水)**

★申込先： [hirata\(at\)math.cst.nihon-u.ac.jp](mailto:hirata(at)math.cst.nihon-u.ac.jp) (日本数学会男女共同参画社会推進委員会) にメールで送られるか、Fax にて 042-594-7202 までご送付下さい。

**料金支払締め切り：2006年3月15日(水)**

★支払先の郵便振替口座：00150-1-179048 名義：社団法人 日本数学会  
(通信欄に「保育室料金であること」と「会員番号」を明記下さい)

★メールのみで申込される場合の注意事項：確認メールが男女共同参画社会推進委員会から届きます。確認メールが3月12日までにお手元に届かない場合は、メール事故かもしれませんので、再度メールまたはFax にて必ずお申送下さい。

★日本数学会では、年会時などにおける保育室関連の申込確認や情報交換の場として、「保育室メーリングリスト」があります。メールアドレスは、[ota-hoiku\(at\)tsuda.ac.jp](mailto:ota-hoiku(at)tsuda.ac.jp) です。このリストへの参加希望者は、直接このアドレスにご連絡ください。

-----保育室申込書-----

宛先：h i r a t a (at) m a t h . c s t . n i h o n - u . a c . j p または  
Fax： 0 4 2 - 5 9 4 - 7 2 0 2

.....

年 月 日

私は日本数学会の保育室利用の規定に同意した上で、以下の通り保育を申し込みます。

★申込者（保護者）氏名：

★申込者（保護者）ふりがな：

★申込者（保護者）所属：

★保育室に出入りする保護者などが上記の申込者の他にもいる場合、その氏名とふりがな：（損害保険のために全員の氏名が必要）

★申込者（保護者）連絡先住所：

★電話：

★メールアドレス：

★緊急連絡先電話番号（学会中に利用可能の携帯電話の番号を書いて下さい）：

★利用予定日と時間（確実に迎えにこられる時間まで）：

月 日（ ） 時 分から 時 分まで

★保育室利用時に保護者の参加する日本数学会の「行き先」場所詳細を日時ごとに記入して下さい：

月 日（ ） 時 分から 時 分までの  
「行き先」は

月 日（ ） 時 分から 時 分までの  
「行き先」は

月 日 ( ) 時 分から 時 分までの  
「行き先」は

月 日 ( ) 時 分から 時 分までの  
「行き先」は

月 日 ( ) 時 分から 時 分までの  
「行き先」は

月 日 ( ) 時 分から 時 分までの  
「行き先」は

★利用予定保育料金総計： 円

(料金：0歳 800円／1時間，1歳以上 600円／1時間  
2人目以降の兄弟，双子以上：半額の0歳 400円／時間，1歳以上 300円／時間)

★子供氏名1：

★ふりがな：

★生年月日： 年 月うまれ 満 歳 か月

★性別：

★子供氏名2：

★ふりがな：

★生年月日： 年 月うまれ 満 歳 か月

★性別：

★特に注意してほしいことなどありましたらお書き下さい。

-----<保育室申込書：以上>-----